

## 3.2.1.1 新世代モバイル研究開発プロジェクト推進室

中期計画期間全体	目 標
	新世代モバイル研究開発プロジェクトの全体設計、具体的な計画の立案、プロジェクトの運営、進捗管理、内外機関との調整、研究成果の取りまとめ等に至る一連の作業を行うことにより、「新世代モバイル研究開発プロジェクト」が効率よく実施でき、ビジネス及び標準化の面を含めて多くの研究成果が得られることを目標とする。
	目標を達成するための内容と方法
	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 新世代モバイルプロジェクト会議を定期的に行い、実行計画案の提示、各グループからの提案集約、統括リーダーへの情報提供及び指示事項の具体化等を通して、具体的な計画の立案及びプロジェクトの推進及び運営を行う。</li> <li>(2) 発注契約、共同研究、研究委託等の外部との協力関係の締結を行う。</li> <li>(3) 研究成果発表として研究会及び評価委員会の開催等を行う。</li> <li>(4) 標準化作業への参加促進を行う。</li> </ol>
今年度の計画及び報告	特 徴
	新世代モバイル研究開発プロジェクトの企画、管理、運営を通してプロジェクトの効率よい推進を支援するため、統括リーダーと3研究グループの間の調整、国内外の外部機関との調整、標準化活動の促進等を行う。
今年度の計画及び報告	今年度の計画
	新世代モバイル研究開発プロジェクトの初年度として、プロジェクト全体の設計、実行計画の策定、人的資源の発掘、共同研究や研究委託等の戦略の策定及び連携確立、研究体制の整備、内外への広報活動等を実施するほか、研究事前評価、中間評価等の体制の確立と実施を推進する。
	今年度の成果
	<p>新世代モバイル研究開発プロジェクトについては、ワイヤレスアプリケーショングループ、モバイルネットワークグループ、ワイヤレスアクセスグループ及び新世代モバイル研究開発プロジェクト（DP）を参照されたい。プロジェクト推進室で行われている新世代モバイル以外の研究成果（ミリ波プロジェクト関連）は下記のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 加入者系無線アクセスシステムについては、都内における伝搬試験の実施データを取得、128QAM装置の実現、経路切替えネットワークの提案と実証、標準化団体IEEE802.16への寄与文書の提出、を行った。</li> <li>(2) ミリ波アドホックシステムでは、マルチホップ型アドホック通信のための基本的ネットワークの提案、ブルートゥースプロトコルを用いた数10Mbps級アドホック通信の実証、実環境における伝搬特性の解明、マルチキャリア化による高速化の提案、IEEE802.15ヘミリ波物理レイヤーとするシステムに関する寄与文書の提出、を行った。</li> <li>(3) 難視聴対策技術としてミリ波縦系配線システムの提案、装置化を行い、実環境試験を実施し、集合住宅での衛星放送インフラとしての有効性を明らかにした。また、100Base-TX対応60GHzリンクを提案し、自己ヘテロダイン方式の有効性を明らかにした。</li> <li>(4) ミリ波ワークショップの開催、ミリ波国際会議（TSMMW）の開催を行った。</li> </ol>